



刑事弁護人の役割

そのとき、弁護人はなにをすべきか？

The Role of Defense Counsel:

What Should We Do When Faced With a Dilemma?

裁判員制度、公判前整理手続、被害者参加制度、被疑者国選弁護人制度、取調べの録音・録画、司法取引、免責証言制度・・・刑事手続は大きく変容しています。このなかで、弁護人の役割と義務が、ますます厳しく問われています。このシンポジウムは、日本、アメリカ、ドイツの代表的論者を迎え、「刑事弁護人の役割」論の世界水準を示します。

2016年2月5日(金)

13:00～17:30(12:30受付開始)

一橋大学 国立西キャンパス

如水会百周年記念インテリジェントホール

入場無料・予約不要 同時通訳有

基調報告

村岡啓一 特任教授(一橋大学)

「どうやって、あんな奴らの弁護ができるのか？」

マイクル・タイガー 教授(弁護士・アメリカ デューク大学)

「自らを正義と呼ぶ制度の下での倫理：三つの基本原則」

ヴェルナー・ボイルケ 教授(弁護士・ドイツ パッサウ大学)

「ドイツにおける刑事弁護人の地位と役割」

主催：一橋大学大学院法学研究科(教授・葛野尋之)

連絡先：law-so.g@dm.hit-u.ac.jp (法学研究科事務室)